

確

カ

豊

か

な

IL)

の

育

成

令和5年度市川中学校3学年グランドデザイン



学年経営目標

自他の成長の可能性を信じ、進路実現に向かって主体的に取り組む 生徒・集団の育成

今年度の重点

・学習意欲を高めるための授業の工夫

対話のある授業を計画的に実施し、生徒一人ひとりの活動 のある場を授業をめざす。

・自主学習の取り組み

家庭学習の習慣化をはかるとともに,知識の定着を意識した方法を指導する。

<u>・テストの取り組み</u>

入試にむけて見通しを持って、計画的に取り組むことがで きるよう指導を工夫する。

・進路学習

卒業後の進路について、主体的に取り組めるよう情報提供を適切に行い、自己理解に基づいた進路選択ができるよう支援する。

・一人ひとりの存在感ある集団づくり

学級、学年、全校の活動を通して,一人ひとりが役割を担い,集団に参画する機会を増やす。

<u>・新しいことへの挑戦</u>

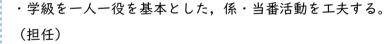
今までの取り組みを土台にして,全校の活動に貢献できる最上級生を目指すよう指導する。

・諸活動において、人権教育を基調とした活動を行う 学年職員全員で道徳の授業を行い、多様な考えに触れる。 人権尊重の意識を培う集団となるよう指導する。

今年度の重点取組及び分掌

- ・授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける(全)
- ・生徒のつぶやきをひろう授業を心がける。(全)
- ・自主学習を通して,生徒の学習状況を確認する。(全)
- ・帰りの会を活用した基礎学力向上の取り組みを行う(各教科)
- ・進路情報を日常的に掲示する。(小林)
- ・タブレットを活用した授業の工夫・改善を提案する。(塩島)
- ・進路実現に向けた放課後学習会を実施し、知識の定着を図る。 (全)





- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気 持ちを表現する活動を行う。(佐野)
- ・自分の良さを見つけ、進路選択に活かす活動を行う。(担任)
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。(全)
- ・生徒自身が作りあげる生徒会活動を行う。(市瀬)
- ・関係機関と連携し、生徒のよりよい成長を多くの人で支えると ともに、卒業後の支援につなげる。(小林)

健康

安

・自立した生活に向けた指導

優先させるべき事項を明確にして,時間管理の意識を持って 生活するよう指導し,生活にメリハリを持たせる。

・体調管理,適切な感染症対策

体調の自己管理の力を身につけ、入試などに対応できる力を 身につける。

・情報リテラシー学習

機会を設け、ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ。



・学校生活上の優先事項を明確にする。(担任)

- ・教室環境の整備を行う。(担任)
- ・体調の自己管理や、感染予防を意識した生活を送るための方 策を指導する。(全)
- ・情報リテラシーについて取り上げる道徳授業を実施する。 (佐野)
- ・タブレットの活用法を考え提案し,試行する。(塩島)

域と

・情報発信,保護者との連携

学級通信,学年通信を適宜発行し,学校の様子を発信する。 個々のよりよい成長のために,保護者と連携し学校の様子を 伝える機会を多く持つ。

・地域参画

地域の一員として、社会参画を促す指導をする。

・進路指導

保護者と連携して情報を共有し、丁寧な進路指導を行う。



- ・学年、学年通信を発行し、学年の様子や予定を保護者に伝える。(担任・小林)
- ・思春期体験学習を通して,生命について考える機会とする (全)
- ・ボランティア活動などを通して、地域とのつながりを考える。(小林)
- ・積極的に保護者と連携し、丁寧な進路指導を行う。(担任)